

## 「コミュニケーション英語Ⅱ」学習指導案

茨城県立緑岡高等学校  
教諭 廣岡 大介

### 1 日 時

平成※年※月※日（※）

### 2 学 級

理数科 第2学年※組 少人数クラス（※名）

### 3 学 級 観

2年※組は理科・数学等の科学研究に興味関心のある生徒が集まった理数科※※名のクラスである。本校は昨年度よりSSHに指定されており、※組の生徒達は班ごとに毎週、科学的課題研究に取り組んでいる。先日、マレーシア海外研修に全員が参加したこともあり、英語学習には前向きな姿勢で取り組むことができる。飛び抜けて英語力の高い生徒はおらず、また、生徒間に学習到達度の差はあるが、ペア・ワークやグループ・ワークにおいて、協力して共に学ぶ姿勢がある。

### 4 教 材

教科書 PROMINENCE Communication EnglishⅡ（東京書籍）  
Lesson 6 Is the Internet Making Us Smarter?

### 5 単元の目標

最近ではパソコンやスマートフォンの発達によって大量の情報が手に入り、グローバルに意思伝達や議論が出来るようになった。一方で、情報が多すぎると、時に私たちは判断を誤ることもあることを脳科学は証明している。今後益々進行する情報化社会において、知性とは何か、そして、より適切な判断力を磨くために必要なことは何か、ということ考察する同時に、様々なタスクを通して、生徒が四技能を用いる時間をできるだけ確保しながら授業を進める。

### 6 指導計画

指導内容	配当時間
Part1 インターネットの使用時間や普及の程度について、ハンドアウトを用いて、タスク消化型活動を行いながら、理解を深める。	2時間
Part2 情報過多が脳にもたらす影響について、ハンドアウトを用いて、タスク消化型活動を行いながら、理解を深める。	2時間
Part3 紙ベースの本と電子ブックとの相違について、ハンドアウトを用いて、タスク消化型活動を行いながら、理解を深める。	2時間（本時）
Part4 インターネット検索が脳に与える影響について、ハンドアウトを用いて、タスク消化型活動を行いながら、理解を深める。	2時間
Part5 インターネットの影響の功罪について、ハンドアウトを用いて、タスクの消化型活動を行いながら、理解を深める。	2時間
まとめ 本文全体の内容の再確認と、既習事項を用いた活動を行う。	1時間

### 7 本時の目標及び評価規準

#### (1) 目標

- ア 音読活動を通して、テキストの内容をインプットする。
- イ 本文に関連する問いに対して、自分の考えを相手に伝える。
- ウ モデルサマリーを聞いて、聞き取ったキーワードをグループで共有し、サマリーを再構築する。
- エ ペア・ワークやグループ・ワークに積極的に参加し、様々な活動を行っている時間を多く取り、生徒の活動が主体となった授業を目指す。

## (2) 評価規準

①コミュニケーションへの関心・意欲・態度	②外国語表現の能力	③外国語理解の能力	④言語や文化についての知識・理解
ペア・ワークやグループ・ワークに積極的に参加し、主体的に対話し、時には協力して課題を解決している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>本文を正しく音読できる。</li> <li>自分の意見を相手に伝えることができる。</li> <li>本文の内容の要約を作ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本文中の新出語や重要表現の意味や用法を理解している。</li> <li>相手の問いや意見を聞き取って理解できる。</li> </ul>	インターネットがもたらす問題の一例を理解し、その問題に対し、自分の考えを述べられる。

## 8 本時の展開

時間	指導過程 (テロップ)	生徒の学習活動	教師の活動 及び 指導上の留意点	主な 評価の観点	評価 方法
8分	1. Warm-up Activity (ペア)  -Speaking -Listening	<ul style="list-style-type: none"> <li>インターネットやコンピューターに関連した人物や事物を一人が口頭で描写し、もう一人が聞き取った上で当てるゲームを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指示を明確にし、また難易度を適切に設定するため NGワードも設定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>お互いに英語で表現をしたり、相手の話を聞き取ろうとしたりしているか。 (①②③)</li> </ul>	活動の観察
8分	2. Oral Reading (個人)  -Reading	<ul style="list-style-type: none"> <li>バズリーディングやリード&amp;ルックアップ等を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>机間巡視し、生徒の積極的な音読を支援する。</li> <li>英語の音声的な特徴に注意させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>しっかりと声を出し、発音、ポーズの位置、リズム、抑揚等に気をつけて読んでいるか (①②)</li> </ul>	活動の観察
13分	3. Cloze Reading (ペア)  -Reading -Listening	<ul style="list-style-type: none"> <li>ペアで口頭虫食いテキスト音読をおこなう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>読み手も聞き手も集中して活動に取り組めるよう机間巡視して支援する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>読み手は英語の音声学的な特徴に注意しつつ読んでいるか。 (①②)</li> <li>聞き手は相手の音読を注意して聞き取ろうとしているか。 (③)</li> </ul>	ワークシート  活動の観察  筆記テスト (後日)
8分	4. Output Activity (ペア)  -Speaking -Listening	<ul style="list-style-type: none"> <li>本文に関連する問いに対して、自分の考えを述べる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えとその理由が伝えられるよう指導する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>インターネットに関する自分の意見が聞き手に伝わるよう話しているか。 (①②④)</li> <li>相手の意見を理解しようとしているか。 (③)</li> </ul>	ワークシート  活動の観察  筆記テスト (後日)

18分	<p>5. Dictogloss (グループ)</p> <p>-Listening -Writing</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4人グループを作る。</li> <li>・ 教師の音読するモデルサマリーを2～3回聴く</li> <li>・ 大切だと思うキーワードや表現をメモする。</li> <li>・ 聞き取ったものをグループで共有する。</li> <li>・ 共有したキーワード等からサマリーを再構築するために、グループで話し合う。</li> <li>・ グループでサマリーを作り上げる。</li> <li>・ いくつかのグループが全体に自グループのサマリーを発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各グループを回り、必要に応じて支援する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教師の発話を集中して聴いているか。 (①③)</li> <li>・ 自分の考えを積極的に相手に伝えているか。 (①)</li> <li>・ 情報を共有し、話し合いながら、モデルサマリーを再構築できているか。 (①②④)</li> </ul>	<p>ワークシート</p> <p>活動の観察</p> <p>筆記テスト (後日)</p>
-----	--	--	--	---	--